

(3) 持続可能な社会・経済の形成

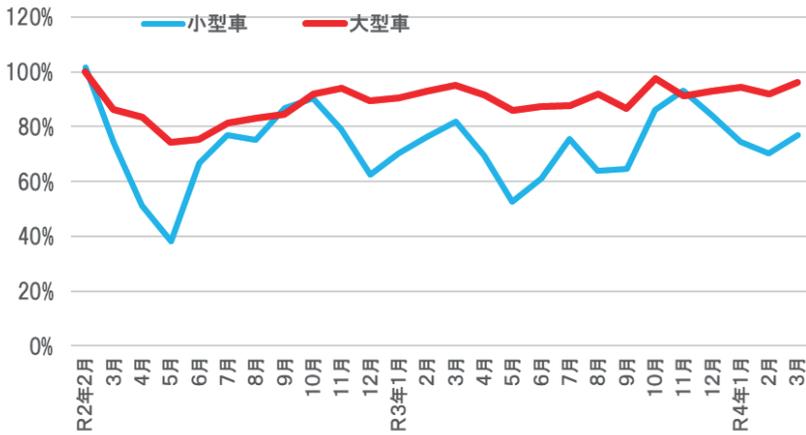
① 高規格道路ネットワークの形成

人流・物流の大半を道路交通に依存している北海道において、経済活動を支え、地域の交流や発展に寄与する高規格道路等の整備を促進します。

■ 高規格道路等の整備促進と機能向上

- ・ 圏域間の交流拡大や地域医療の充実、地域経済の活性化などを図るため、高規格道路をはじめとする幹線道路の整備を行います。
- ・ 活力ある道民の生活や都市部の活性化を支える道路整備を推進します。

高速道路の主な区間の交通量増減(R1年比)



【高規格道路等の整備】



整備後
日高自動車道（日高門別IC～日高厚賀IC間）



整備後
道道仁別大曲線（羊ヶ丘通）

※コロナ禍においても大型車交通量は、小型車ほどの変化がない。

（出典：北海道建設部調べ）※国土交通省による「全国・主要都市圏における高速道路・主要国道の主な区間の交通量増減」より、道央道（深川IC～旭川鷹栖IC間）、道東道（千歳恵庭JCT～千歳東IC間）の交通量を元に算出。

【都市部活性化を支える道路整備】



整備後
都市計画道路弥生新道（幕別帯広芽室線）（帯広市）



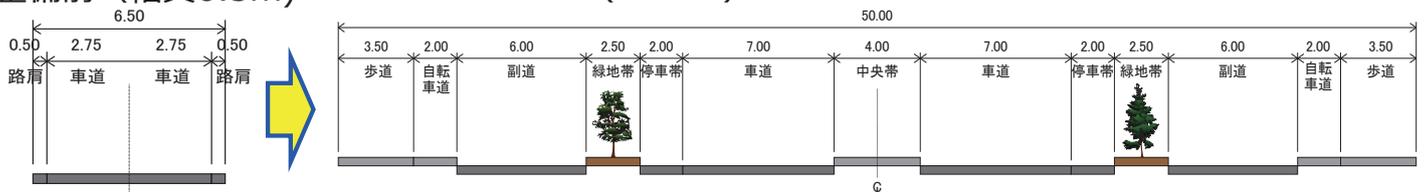
整備前



整備後

整備前（幅員6.5m）

整備後(50.0m)



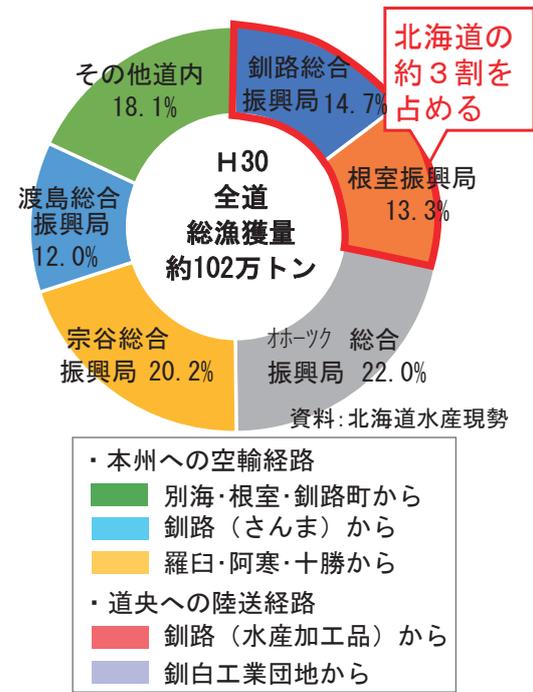
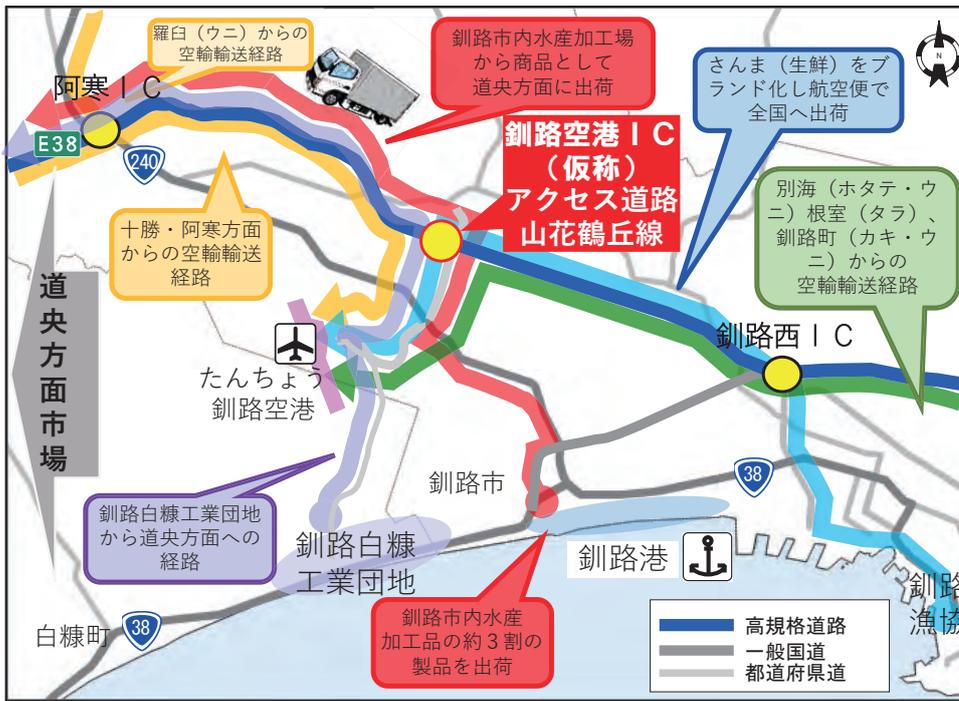
②物流ネットワークの形成

地域間の連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成、都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備を推進します。

■物流ネットワーク形成のための道路網整備

- ・ 空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備を推進します。
- ・ 道州制特区推進法に基づく移譲事業^{注1}を着実に推進します。

注1 北海道開発のため特に必要と認められた道路を本来の道路管理者に代わって、国が整備中であった路線を平成22年度から道で実施



釧路空港IC(仮称)新設とアクセス道路(山花鶴丘線)整備



ICへのアクセス道路整備

国からの移譲事業の推進

■都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備

- ・ 都市の円滑な交通を確保するための幹線道路等の整備を促進します。



きたひろしま総合運動公園線 (北広島市)

都市計画道路川東通 (北見美幌線) (北見市)

■ボールパーク完成予想図 2023年3月完成予定

③地域の特色に応じた魅力的なまちづくり

まちなか居住のための住宅整備など持続可能なコンパクトなまちづくりや、下水道施設の改築更新など、環境に配慮した地域の特性に応じたまちづくりを推進します。

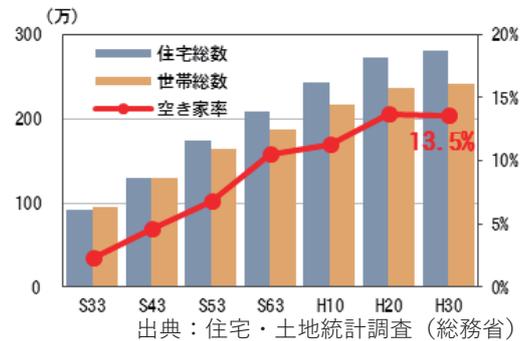
■持続可能なコンパクトなまちづくり

- ・ 中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住を推進します。
- ・ 魅力ある地域景観を創出する街なみ環境整備を推進します。
- ・ 既存公営住宅の建替や長寿命化などによる良質な住宅ストックの形成を推進します。
- ・ 地域経済や環境負荷低減に寄与する良質な民間住宅の整備普及を推進します。
- ・ 空き家等対策を推進します。
- ・ 中心市街地・商店街の活性化を目指したまちづくりを推進します。



であえーる宮下東団地（旭川市）

中心市街地に安心とにぎわいを創出するまちなか居住の推進



道内における空き家の現状

◆北の住まいるタウン

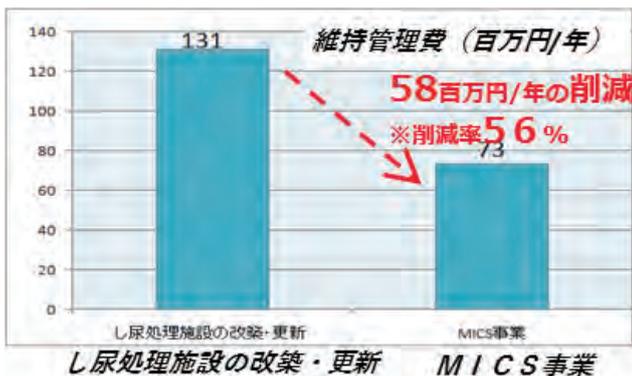
- ・ 人口減少や高齢化が進行し、広域分散型の都市構造を有する本道において、コンパクトなまちづくり、低炭素化・資源循環、及び生活を支える取組を一体的に進め、誰もが安心して心豊かに住み続けられるまちづくりを目指す「北の住まいるタウン」の推進に向けた取組を行います。



R3年10月 ニセコ町事例見学ツアーの状況
※綺羅街道～電線地中化や建築物の共通ルールによる自然と調和したまちなみの形成

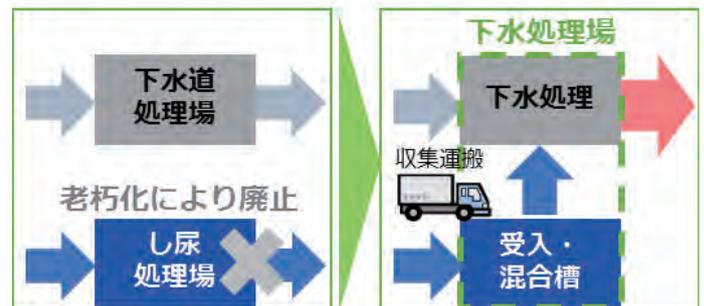
■環境に配慮したまちづくり

- ・ 下水道施設の改築更新を推進します。
- ・ 合流式下水道を改善します。
- ・ 普及率の低い町村部の下水道を整備します。
- ・ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設の整備を推進します。



MICS事業導入による効果事例
(十勝川流域下水道事業 2018年4月導入)

※MICS（汚水処理施設共同整備事業）とは
下水道や合併処理浄化槽等の汚水処理施設が共同で利用する施設を整備することで効率化を図ることを目的とした事業。



下水道汚泥処理施設の集約化及び減量化施設概要図